

第 2～第 12 会場での機器接続と字幕表示方法

【1】 プロジェクターのスクリーンに PC 画面を投影する

- ① 教壇横の黒いコンソール (AV 機器のラック) 右上の「主電源」ボタンが押し込まれていて、その下のスイッチャーの「HDMI」のボタン) が点灯していることを確認する。



- ② スクリーンが収納されたままでプロジェクターが点灯していない場合、コンソール左側中段にある「VP 電源」の ON ボタンを押し、その右の「スクリーン」の下降ボタンを押す。

注意：第 2、3、6 会場ではこれらの「VP 電源」と「スクリーン」のボタンは背の高いもう一台のコンソールにあります。



- ③ コンソール右下の「リモコン・ケーブル収納ボックス」の中にケーブル類が袋に小分けされており、その中の HDMI ケーブルを使用する。



- ④ コンソール正面左上の HDMI コネクタにケーブルを接続する。



- ⑤ HDMI ケーブルを発表用 PC に接続する。
⑥ スクリーンに PC 画面が投影されていることを確認する。

【2】 会場のマイク音声を PC に入力してパワーポイント 365 に字幕を表示する

注意：インターネット接続とパワーポイント 365 が必要です。会場の eduroam あるいは大会用の会場内無線接続(Wi-Fi)をご利用ください。お困りの場合は受付でご相談ください。

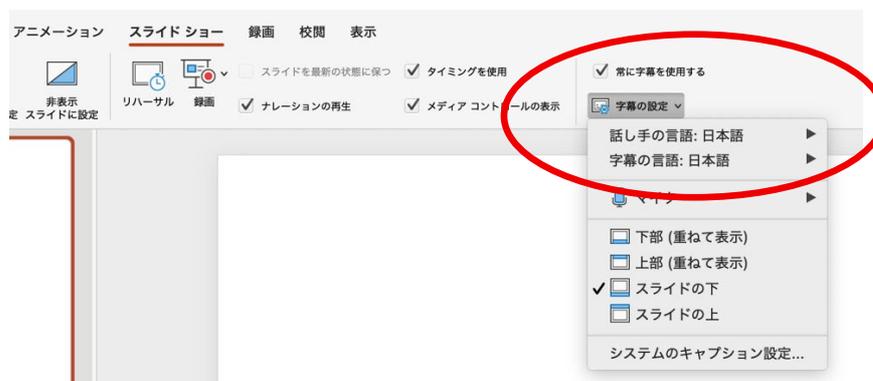
- ① 【1】の設定に加えてコンソール右下の「リモコン・ケーブル収納ボックス」の中の USB ケーブルを使用する。
- ② コンソールの「HDMI」と同じ並びの「USB」コネクタに USB ケーブルを接続する。HDMI も繋いだままにする。



- ③ プレゼン用 PC には接続済みの HDMI ケーブルに加えて、上記の USB ケーブルを接続する。USB コネクタは Type A のみなので、必要に応じてアダプターを使用する。**(発表者ご自身でご用意ください。)**
注意：アダプター使用時は HDMI と USB (Type A) の入力があるアダプターを使用して、両方のケーブルを同じアダプタに接続するのが望ましい。



- ④ パソコンのサウンド設定の入力と出力をどちらも Rubix22 (会場で名前が違う場合あり) に変更する。
- ⑤ パワーポイント 365 のスライドショー設定のタブで「常に字幕を使用する」をチェックし、話し手の言語と字幕の言語をどちらも日本語にする。



- ⑥ 会場用マイクの音声が入力されたスクリーンに字幕表示されることを確認する。
注意：複数のマイクが準備されているので質疑の際の質問者の声も表示可能です。

【3】 会場のマイク音声を PC に入力してパワーポイント 365 の自動翻訳を使用する

- ① 設定は基本的に【2】と同じ。講演者の使用言語が英語の場合、パワーポイント 365 のスライドショー設定で話し手の言語を英語、字幕の言語を日本語にする。



- ② 会場用マイクの音声パワーポイント 365 でリアルタイムに翻訳され、字幕表示されることを確認する。
- ③ 話し手の言語と字幕の言語を入れ替えることで、日本語の講演の英語字幕を表示することも可能。

【4】 発表を zoom 等で配信する、またはオンデマンド用字幕付きコンテンツを作成する

- ① パワーポイントの画面を共有すれば、字幕も含めて会場のマイク音声と共に zoom 等で配信可能です。
- ② Zoom 等で録画すれば、オンデマンド配信用の字幕付きコンテンツを作成できます。
- ③ 注意：zoom の「オーディオ」の「マイクを選択」が会場のマイク音声 (Rubix22) になっていることを確認する。